

検診の受診や情報提供の促進など 企業のがん対策

がん検診の受診率向上やがん患者・経験者の就労支援対策強化等に努める企業が増えてきています。パート4では、令和2年度がん対策推進企業表彰から、伊藤忠エネクス株式会社と城北ヤクルト販売株式会社の取り組みを紹介します。



人事総務部課長・森田裕介さん(左)、保健師・日野間佳子さん(中央)、部長・青柳旬さん(右)

伊藤忠エネクス株式会社

〒100-6028
東京都千代田区霞が関3-2-5
霞が関ビルディング27～29階
1961年1月設立。
従業員数は663人(連結5,558人、2021年3月31日現在)

伊藤忠エネクス株式会社

(東京都千代田区)

健康経営を強化し 社員のパフォーマンス最大化

がん対策の拡充で、安心して活躍できる環境づくり

伊藤忠エネクス株式会社は、経営理念「社会とくらしのパートナー」のもと、全国各地で石油製品・LPGガス・電力を中心に、生活に欠かせ

ないエネルギーやサービスを提供しています。お客さまに寄り添うためには、社員一人ひとりが健全な心と体を持つことが必要だと考え、社員と家族の健康維持・向上をめざしてきました。2005年に健康管理室を設置。健康経営

推進のため、トップのコミットメントや具体的な目標の明確化などを行い、社員に周知してきています。そのなかの一つが、がん・疾病予防です。同社では、年代に応じた健康診断・がん検診を法定項目よりも手厚い内容にし、費用も全額会社負担で実施、2次検査や配偶者健診費用補助もあります。がん検診は健康診断と同時に受診が可能で、昨年度は全社員に胃がんリスクアセスメント(ABC検診)を実施したほか、検査オプションをさらに拡充し、早期発見と予防に努めています。「検査に伴うメリットとリスクに関して、保健師がわかりやすく説明するオリジナルeラーニングを検査予約前に受講必須とし、社員自身が

理解したうえで、必要な検査を選択しています」と、同社の保健師、日野間佳子さんは工夫を話します。「健康経営ハンドブック」も作成。検診のことはもちろん、治療が必要になったときの相談窓口や両立支援プラン決定プロセス、勤務・休暇制度などの支援体制、さらに項目ごとの健康促進策をまとめています。「がん対策が十分かどうかについては、産業医や保健師、人事総務部が話し合いながら調整しています。時代に合った健康経営を進めていくためにも、組織の力を活かして対策をブラッシュアップしていきたいと思っています」と、人事総務部部長の青柳旬さんは力を込めて話します。